

足利サイクルツーリズムの推進について

都市建設部 都市計画課

TEL:0284-20-2167

総合政策部 総合政策課

TEL:0284-20-2103

1 趣旨

現在、栃木県では、「サイクルツーリズムで成長する“とちぎ”」を県南地域で推進するため、モデルルートとその名称を決定するとともに、その活用方法の検討を進めているところです。

一方、現在、本市においては、「北部中山間地域の豊かな自然、適度な勾配の山道を活かしたサイクルツーリズム」の取組を推進しています。この取組に加え、渡良瀬川堤防上のサイクリングロードを軸とし、足利学校や鑿阿寺をはじめとした本市固有の地域資源を有機的に繋ぎ合わせ、自転車で市内を回遊するサイクルツーリズムを展開することで、本市全体により多くの経済効果を波及させるサイクルツーリズムを推進することについて、ご報告するものです。

2 足利サイクルツーリズム (Vélo. Ashikaga) 推進事業について

(1) 事業の目的

徒歩より広範囲を気軽に、そして楽しく移動できる自転車を有効に活用し、本市の持つ豊かな自然、本市ゆかりの歴史文化遺産、他市に誇れる観光資源などとサイクリストを結び付けるとともに、そのニーズに対応した走りやすく楽しめる環境を創出し、本市を訪れるサイクリストの増加や市内回遊性の向上を図ることで、本市全体の更なる活性化を目指すものです。

(2) 事業の方針

当面、以下の二つのサイクルツーリズムの検討を進める中で、モデルルートの選定、トイレ、店舗、駐車場、休憩場所などの情報発信、ウェルカムサイクリストの機運醸成などを推進していきます。

ア 北部中山間地域の豊かな自然、適度な勾配の山道を活かしたサイクルツーリズム (Vélo. Satoyama)

イ 渡良瀬川堤防上のサイクリングロードを軸としたサイクルツーリズム (Vélo. Watarase)

※ Vélo (ヴェロ) とは、フランス語で「自転車」を意味します。

(3) 事業の内容

- ア サイクルラック等設置店舗の発掘及び協力依頼
- イ ルート上のトイレや給水施設、休憩施設などにサイクルラックを設置
- ウ ルートが一目で分かるサインをデザインし、主要なポイントに設置
- エ 通行帯の表示

(4) 拠点の創出

国や栃木県と連携しながら、かわまちづくり事業を実施する本町緑地や中橋の架替事業に合わせ、サイクリストの拠点となる施設の整備を検討します。また、県南地域モデルルートや渡良瀬川堤防上のサイクリングロードから誘導するためのサイン設置を検討します。

3 足利サイクルツーリズム推進協議会の組織

足利サイクルツーリズム推進協議会を組織し、幅広い分野の意見を聞きながら、足利らしい特色のある事業を推進していきます。

(1) 委員

- ア (一社) 足利市観光協会
- イ 足利商工会議所・足利市坂西商工会
- ウ 足利市農業協同組合
- エ 宇都宮ブリッツェン
- オ 国土交通省 関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所
- カ 栃木県県土整備部交通政策課、安足土木事務所
- キ 足利警察署

(2) アドバイザー

- ア 東武鉄道(株)
- イ 東日本旅客鉄道(株)高崎支社
- ウ まちづくり団体
- エ 自転車関連メーカー

4 今後のスケジュール

- 令和4(2022)年 9月 第1回足利サイクルツーリズム推進協議会の開催
- 11月 キックオフイベントの開催